

岡崎委員（自民議連）

令和2年3月13日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）学びの変革に向けた教員の資質向上について

学びの変革を推進する上で求められる教員の資質・能力とはどのようなものであり、その育成に向け、どう取り組んでいくのか、これまでの取組の成果や課題と併せて、教育長に伺う。

（答）

本県では、これまで学びの変革を推進するために、知識ベースの学びに加え、児童・生徒のコンピテンシーの育成を目指した主体的な学びを進めているところでございます。

こうした学びを進めるためには、児童・生徒自身が課題を見つけ、それに対して深く考え、自分の考えを導き出す過程を設計したり、学習到達度の評価をどのように設定するのかということが重要であり、これらの学習過程を教育活動全体としてどのようにデザインし、各授業において児童・生徒をどのようにファシリテートしていくのか、このような力が教員に求められる資質・能力であると考えております。

この教員に求められる資質・能力を育成するため、これまでも教員等資質向上指標の検討や、教員研修の内容の見直し、児童・生徒の深い学びを促す授業づくりのための研修などに取り組んでまいりました。

しかしながら、学校によって取組状況の進捗に差があったり、あるいは、同じ学校内でも教育活動の場面によって差があったりするなど、必ずしも十分な成果が表れていない部分もあると捉えているところでございます。

県教育委員会といたしましては、引き続き、授業の本質を変えるという基本的な考えの下、更なる研修内容の充実を図ることなどにより、教員の資質・能力の一層の向上を目指し、学びの変革を全力で推進してまいります。